別紙１

**褥瘡創傷専門薬剤師養成臨床研修　習熟度･到達度判定票　(研修施設用)**

所属長　　　　　　　　　　　　　　　殿

習熟度・到達度について、以下のとおり評価したので報告します。

年 月 日

研修者： 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研修総括薬剤師：

研修期間 年 月 日 から 年 月 日

**<習熟度・到達度>**

A. 充分である B. ほぼ充分 C. 不十分 D.判定不能

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研修内容** | **研修項目** | **実施** | **判定** | **指導者印** |
| 1. 実技研修 | 褥瘡・創傷患者または介助者に対する服薬指導 |  |  |  |
| チームカンファレンス |  |  |  |
| 2. 講義研修  (褥瘡・創傷) | 最新の褥瘡・創傷症治療と疫学 |  |  |  |
| 褥瘡・創傷の病態に関する内容 |  |  |  |
| 褥瘡・創傷の治療薬・創傷被覆材に関する内容 |  |  |  |
| その他、褥瘡領域の臨床試験など |  |  |  |
| 2．講義研修  (医療制度) | 医療制度並びに法規制に関する内容 |  |  |  |
| 保険薬局との患者情報の共有に関する内容 |  |  |  |
| 日本の褥瘡・創傷医療体制に関する内容 |  |  |  |
| 2．講義研修  (服薬支援) | コミュニケーションスキルに関する内容 |  |  |  |
| 医療連携における薬学的管理に関する内容 |  |  |  |
| 2．講義研修  (合併症・その他) | 褥瘡・創傷の全身管理に関する内容 |  |  |  |
| 褥瘡・創傷の関連用具に関する内容 |  |  |  |
| 総合評価（総括指導薬剤師） | | | | |
| ※評価コメント（C、D の場合は具体的なコメント） | | | | |

別紙２

**褥瘡創傷専門薬剤師養成臨床研修　習熟度･到達度判定票　(自己評価用)**

所属長　　　　　　　　　　　　　　　　殿

習熟度・到達度について、以下のとおり評価したので報告します。

年 月 日

研修者： 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研修総括薬剤師：

研修期間 年 月 日 から 年 月 日

**<習熟度・到達度>**

A. 充分である B. ほぼ充分 C. 不十分 D.判定不能

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研修内容** | **研修項目** | **実施** | **判定** |
| 1. 実技研修 | 褥瘡・創傷患者または介助者に対する服薬指導 |  |  |
| チームカンファレンス |  |  |
| 2. 講義研修  (褥瘡・創傷) | 最新の褥瘡・創傷症治療と疫学 |  |  |
| 褥瘡・創傷の病態に関する内容 |  |  |
| 褥瘡・創傷の治療薬・創傷被覆材に関する内容 |  |  |
| その他、褥瘡領域の臨床試験など |  |  |
| 2．講義研修  (医療制度) | 医療制度並びに法規制に関する内容 |  |  |
| 保険薬局との患者情報の共有に関する内容 |  |  |
| 日本の褥瘡・創傷医療体制に関する内容 |  |  |
| 2．講義研修  (服薬支援) | コミュニケーションスキルに関する内容 |  |  |
| 医療連携における薬学的管理に関する内容 |  |  |
| 2．講義研修  (合併症・その他) | 褥瘡・創傷の全身管理に関する内容 |  |  |
| 褥瘡・創傷の関連用具に関する内容 |  |  |
| 総合評価（総括指導薬剤師） | | | |
| ※評価コメント（C、D の場合は具体的なコメント） | | | |

別紙３

**褥瘡創傷専門薬剤師養成臨床研修　研修者による研修内容評価票（学会提出用）**

一般社団法人　日本褥瘡学会　理事長殿

習熟度・到達度について、以下のとおり評価したので報告します。

年 月 日

研修者： 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研修総括薬剤師：

研修期間 年 月 日 から 年 月 日

**<習熟度・到達度>**

A. 充分である B. ほぼ充分 C. 不十分 D.判定不能

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研修内容** | **研修項目** | **実施** | **判定** |
| 1. 実技研修 | 褥瘡・創傷患者または介助者に対する服薬指導 |  |  |
| チームカンファレンス |  |  |
| 2. 講義研修  (褥瘡・創傷) | 最新の褥瘡・創傷症治療と疫学 |  |  |
| 褥瘡・創傷の病態に関する内容 |  |  |
| 褥瘡・創傷の治療薬・創傷被覆材に関する内容 |  |  |
| その他、褥瘡領域の臨床試験など |  |  |
| 2．講義研修  (医療制度) | 医療制度並びに法規制に関する内容 |  |  |
| 保険薬局との患者情報の共有に関する内容 |  |  |
| 日本の褥瘡・創傷医療体制に関する内容 |  |  |
| 2．講義研修  (服薬支援) | コミュニケーションスキルに関する内容 |  |  |
| 医療連携における薬学的管理に関する内容 |  |  |
| 2．講義研修  (合併症・その他) | 褥瘡・創傷の全身管理に関する内容 |  |  |
| 褥瘡・創傷の関連用具に関する内容 |  |  |
| 総合評価（総括指導薬剤師） | | | |
| ※評価コメント（C、D の場合は具体的なコメント） | | | |